



新年あけましておめでとうございます。
本年も、院内感染対策の推進・抗菌薬の適正使用にご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症について

2020年は世界中が新型コロナウイルス感染症で明け暮れましたが、やはり2021年最初のICTニュースでも、取り上げざるを得ない状況が続いています。国内の発生患者数は、累積で約24万人(2021年1月1日現在)となり、1週間当たりの患者発生数は2万人を超えて過去最多となっていますが、**首都圏を中心に今後さらに発生数が増加していくことが危惧されています**(図1)。一方、大阪府の患者発生動向をみると、12月は漸減傾向が続いていたといえますが(図2)、近隣の兵庫県や京都府では増加傾向が続いており、また全国的な患者発生動向をみると、現状のままでは**大阪府も再増加に転じる可能性**があると思われます。

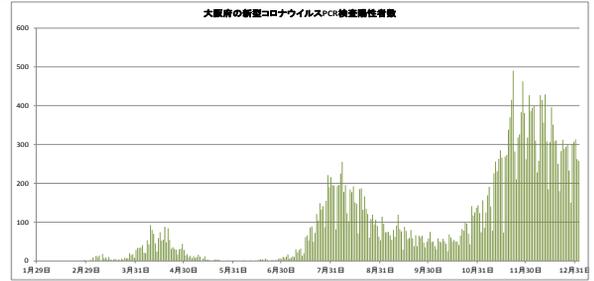


図2. 大阪府の新型コロナウイルスPCR検査陽性者数(大阪府の最新感染動向(大阪府ホームページ): <https://covid19-osaka.info/>に掲載されているオープンデータより算出してグラフ化)

新型コロナウイルス感染症の国内発生動向



図1. 新型コロナウイルス感染症の国内発生動向
《厚生労働省ホームページ: <https://www.mhlw.go.jp/content/10960600/000713293.pdf> より》

以前から指摘されていますが、冬期はコロナウイルスの流行に適した季節であり、日本国内の新型コロナウイルスの流行のピークは1~2月頃になると考えて対策・準備を行っていくべきであると思われます。唯一幸いなことは、**インフルエンザの流行が国内や大阪府内で殆ど見られていないこと**であり、今シーズンはこのままインフルエンザの患者発生数が例年よりも大きく減少したままで推移していくことを願っています。



次に、新型コロナウイルスに対する**ワクチン**について記載します。現在世界および国内で開発中の主なワクチンは表1の通りです。メディアからの情報が先行しており、まだ不明な点も多いですが、海外で既に接種が始まっていることや、国内での治験の状況等を考慮すると、表中の3社(ファイザー社、モデルナ社、アストラゼナカ社)のワクチンの接種がまず日本国内でも始まっていく可能性が高いと予想されます。

接種の優先順位は資料1の通りであり、**2月下旬から接種開始**となっています。特に当院のように新型コロナウイルス感染症の診療に直接従事している医療機関の職員への接種が最優先となるはずで、現在承認申請されているファイザー社のワクチンが承認され次第、速やかに接種が始まると思われます。ワクチンに関する情報や、準備にかかる時間が十分ではないままに接種となることが予想されますので、可能な限りワクチンに関する情報を収集し、院内で共有していく必要があると考えています。(感染管理室 安井良則)

表1 COVID-19 ワクチンの開発状況

国	企業/アカデミア	ワクチンの種類	進行状況
米	ファイザー/ビオンテック	mRNA	海外: 緊急接種許可または承認 国内: 承認申請
米	モデルナ	mRNA	海外: 緊急接種許可
英	アストラゼナカ/オックスフォード	ウイルスベクター	国内: 第I/II相臨床試験
米	ジョンソンエンドジョンソン	ウイルスベクター	国内: 第I相臨床試験
仏	サノフィ	組換えタンパク、mRNA	2021年下半期に実用化予定
米	ノババックス(武田)	組換えタンパク質	国内生産
日本	塩野義/感染症/UMN ファーマ	組換えタンパク質	国内: 第I/II相臨床試験
日本	アンジェス阪大/タカラバイオ	DNA	国内: 第I/II相臨床試験
日本	第一三共/東大医科研	mRNA	国内: 2021年3月から臨床試験
日本	KM バイオロジクス/東大医科研/感染症/基礎研	不活化(従来型)	国内: 2021年3月から臨床試験
日本	ID ファーマ/感染症	ウイルスベクター	国内: 2021年3月から臨床試験

第15回新型コロナウイルス感染症対策分科会資料②から引用(一部改変)

資料1. 新型コロナウイルスワクチンの接種順位について(内閣官房ホームページ「新型コロナウイルス感染症対策分科会第18回資料4-1」)

新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの接種について(中間とりまとめ)抜粋 (令和2年9月25日 新型コロナウイルス感染症対策分科会)

接種目的

新型コロナウイルス感染症による**死亡者や重症者の発生をできる限り減らし**、結果として新型コロナウイルス感染症のまん延防止を図る。

接種順位

- 当面、確保できるワクチンの量に限りがあり、その供給も順次行われる見通しであることから、接種目的に照らして、**新型コロナウイルス感染症患者**(新型コロナウイルス感染症疑い患者を含む。以下同じ。)に**直接医療を提供する施設の医療従事者等**(新型コロナウイルス感染者患者の搬送に携わる救急隊員及び積極的な疫学調査等の業務に携わる保健師等を含む。)**高齢者及び基礎疾患を有する者**を接種順位の上位に位置付けて接種する。今後、具体的な範囲等について、検討する。
- 高齢者及び基礎疾患を有する者や障害を有する者が集団で居住する施設等で従事する者の接種順位**について、業務やワクチンの特性等を踏まえ、検討する。
- さらに、**妊婦の接種順位**について、国内外の科学的知見等を踏まえ、検討する。